

科目名 成人看護援助論Ⅰ		配当時期 2 年次 前期	講義担当者
時間割表記名 成人看護援助論Ⅰ		単位数 1単位	池上 敬一
		時間数 30時間(15回)	坂本 めぐみ
事前学習内容 事前に配布される資料を熟読して、授業に臨む。			
授業目標 1. 対象の状態の変化に気づき、症状・経過・背景から臨床推論することができる。 2. 臨床推論から、対象の病状を認識し、その後の変化を予測することができる。			
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	オリエンテーション&デモンストレーション	講義 演習	テキスト① 資料
2	看護実践ボードゲームの遊び方、知識カード	講義 演習	テキスト① 資料
3	ゲームで使用する病態・疾患カードの導入	講義 演習	テキスト① 資料
4	病態・疾患カードを使った臨床推論ゲーム	講義 演習	テキスト① 資料
5	日常生活の援助場面における臨床推論の実際 1)日常生活援助実施時の臨床判断 検査・治療時における臨床推論の実際 1)検査・治療時の臨床判断 (1)侵襲的な処置(絶食、穿刺、ERCP、膀胱鏡、トレッドミル) (2)観血的処置・非観血的処置	講義 演習	テキスト① 資料
6	「頭が痛い」などの頭の訴え	講義 演習	テキスト① 資料
7	「お腹が痛い」などの腹部の訴え	講義 演習	テキスト① 資料
8	「息がしにくい」などの呼吸の訴え	講義 演習	テキスト① 資料
9	「胸が押される」などの胸部の訴え	講義 演習	テキスト① 資料
10	「足が重い」などの浮腫の訴え	講義 演習	テキスト① 資料
11	「便が黒い」などの消化器の訴え 「目が回る」などの中枢神経の訴え	講義 演習	テキスト① 資料
12	「急に変化ことを言いだした」などの言語の変化	講義	テキスト①
13		演習	資料

14	「突然、右手が効かなくなった」などの中枢神経の変化	講義 演習	テキスト① 資料
15	「嘔吐と下痢」を訴える患者の臨床推論 「嘔吐と腹痛」を訴える患者の臨床推論 「お腹が痛い」と苦悶様の患者の臨床推論	講義 演習	テキスト① 資料
受講上の注意 講義の中で、事例を用いて状況をイメージしながら考え、自分の考えを言語化することを繰り返していく。 自分の考えを積極的に発言することを意識して臨む			評価方法 レポート
使用するテキスト ①急変させない患者観察テクニック 羊土社(池上敬一) 参考図書 ① 系統看護学講座 別巻 救急看護学 ② 系統看護学講座 別巻 クリティカルケア ③ 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論			